

第3期福井県教育振興基本計画に掲げる「今後5年間に取り組む施策」のうち、特に重点的に推進する必要があるものを4つの「重点施策」として位置づけます。

### 重点施策1 子どもの主体性を大切にし、個性を「引き出す教育」の推進

子ども自身の個性に気づかせ、最大限に伸ばすことができるよう、一人一人の興味関心に応じた学びや、文化・スポーツ等多様な分野で本物や一流に触れる機会を提供します。

#### ＜具体的な取組み＞

- ◆ 理数教育の推進（ふくい理数グランプリの開催、サイエンスラボの活用等）
- ◆ 高校生の留学支援の充実（留学経費支援）、グローバルキャンプの実施、英語ディベート大会の開催
- ◆ 職業系高校でチャレンジ精神や探究心等の「起業家精神」を育成
- ◆ 大型楽器の購入など吹奏楽部を支援 ◆ 県立音楽堂の主催公演を希望する児童生徒が無償で鑑賞
- ◆ 競技体験会の開催による有望選手の発掘 ◆ トップアスリートを目指す子どもに育成プログラムを提供
- ◆ 特別支援学校におけるキャリア形成支援の充実（農業体験実習の拡大、新たな技能検定の導入等）
- ◆ 外国人生徒等の高校進学を促進 ◆ 多様な価値観を尊重できるような人権教育の推進 など

### 重点施策2 子どもが知的好奇心や探究心を持ち、学びを「楽しむ教育」の推進

「学ぶ喜び」や「わかる楽しさ」が実感できるよう、学校におけるICT環境を充実させ、子どもの意欲を喚起し、一人一人の能力や特性に応じた学びを提供します。

#### ＜具体的な取組み＞

- ◆ 県立学校にタブレット端末を整備し、一人一人の能力や特性に応じた学習や協働学習を推進
- ◆ ICT機器の活用による体育の授業の充実 ◆ 地域や大学と連携した探究的な学びの推進
- ◆ 「福井県子どもの読書活動推進計画」の推進（ジュニア司書の養成、推奨図書の選定、ヒブリオバトルの開催等）
- ◆ 演奏家や芸術家などを授業や文化部活動に派遣（吹奏楽、弦楽、美術、書道等）
- ◆ 公認スポーツ指導者や国体成年選手を運動部活動に活用 ◆ 小学校のクラブ活動を支援 など

### 重点施策3 地域に貢献しようとする心を育む「ふるさと教育」の推進

地元産業界との連携、学校間や地域間の交流などを通じて、ふるさとへの理解を深め、愛着を持ち、継承発展しようとする心を育成します。

#### ＜具体的な取組み＞

- ◆ 小・中学生がふるさと学習の成果を発表し、交流する「福井ふるさと教育フェスタ」の開催
- ◆ 小・中学校の校外活動や放課後子どもクラブにおける体験活動の充実（嶺南と嶺北の交流）
- ◆ 文化財の魅力を伝える出前授業の実施 ◆ 高校で企業の人材を活用したキャリア講座を開催
- ◆ 地元企業の技術者による授業や難関資格の取得などを通じて、将来の福井の産業を担う人材を育成
- ◆ 高大連携の取組みによる地元大学進学を促進（高校で大学教員が年間を通じた探究活動を実施等） など

### 重点施策4 教職員が輝くための働き方改革の推進

教職員が生き生きと働くことができるよう、学校における働き方改革を進めるとともに、優れた人材を確保するため、教職の魅力向上、教員採用・育成などの方策を講じます。

#### ＜具体的な取組み＞

- ◆ 「福井県学校業務改善方針」に基づく取組みの推進（勤務時間管理の徹底、業務の適正化・効率化、部活動の負担軽減）
- ◆ 教員採用試験の実施内容の見直し ◆ 大学訪問や説明会、大学生等を対象とした教職セミナーの充実
- ◆ 「福井県教員育成指標」に基づく教員研修の充実 など